

ステータス:	終了	開始日:	2009/11/19
優先度:	通常	期日:	
担当者:		進捗率:	100%
カテゴリ:		予定工数:	0.00時間
対象バージョン:			
説明 examples/Composite について、rtc.conf, composite.conf をデフォルトの状態で使用してテストした。 1. Composite を起動して、復号化されたPeriodicECSharedComposite0 を選択。 （ System Dialog 上に配置し、ダブルクリックでCompositeエディタを表示 ） 2.PeriodicECSharedComposite0 を選択して複合解除した。 （ 右クリックから Decompose Composite Componentを選択 ） Controller, Motor, Sensor が白色になった。 （ state:CREATED ） SystemEditor のプロパティから「ExecutionContext」の欄が消えた。 3. Controller, Motor, Sensor を再度複合化した。 （ 右クリックから Create Composite Componentを選択 ） 4. 再度の複合化は実行できる。 5. ConsoleIn -> 複合コンポーネント -> ConsoleOut を接続した場合、 データ送信は正常に出来ている。			

履歴

#1 - 2009/11/20 19:44 - 匿名ユーザー

- ステータス を 新規 から 解決 に変更

- 進捗率 を 0 から 100 に変更

● RTOBJECT_impl.java

class ec_copy の operator(ExecutionContextService ecs) で
ecs の nullチェックが抜けていた。

下記のif分を追加した。
if(ecs != null) {
CORBA_SeqUtil.push_back(m_eclist, (ExecutionContext)ecs_duplicate());
}

class ec_find の operator(ExecutionContextService ecs) で
ecs の nullチェックが抜けていた。
下記のif分を追加した。
if(ecs != null) {
ExecutionContext ec;
ec = ExecutionContextHelper.narrow(ecs);
return m_ec_is_equivalent(ec);
}

class deactivate_comps の operator(ExecutionContextService ecs) で
ecs の nullチェックが抜けていた。
下記のif分を追加した。
if(ecs != null) {
ecs.deactivate_component((LightweightRTOBJECT)m_comp_duplicate());
}

以上で state が異常になる問題は解決した。

リビジョン217で更新。

2025/05/07

1/2

#2 - 2010/01/12 23:54 - n-ando

- ステータスを 解決 から 終了 に変更